

元気ムラ通信40号

発行:2026年10月



詳細は「あきた
元気ムラ応援サ
イト」からご覧
ください。

「あきた元気ムラ大交流会 2026 in のしろ」特集

9月12日(土曜日)、能代市のプラザ都で「あきた
元気ムラ大交流会 2026 in のしろ」を開催しました。

大交流会は、県内で地域づくりに取り組む皆さん
が一堂に集まり、事例発表や試食交流を通して得
た学びを、今後の取り組みに生かしていくことを目
指して開催しているものです。

13回目の開催となる今回の大交流会には、約
190人の方々にお集まりいただきました。



◆ 山本地域の活動紹介

能代市 梅内聚落（しゅうらく）

《山の資源を活用した取り組みをみんなで楽しく》



事務局長 船山富雄さん、代表 野呂勝彦さん

梅内聚落（しゅうらく）からは、豊かな森林資源を活用した取り
組みの紹介がありました。

間伐材を薪にして販売する「薪の駅プロジェクト」、都市部
の方を対象としたチェンソーなどの体験会、地元小学生への森林
体験授業、木工品の製作販売などに取り組んでいます。

また、昨年には青年部が立ち上がり、SNSによる地域の情
報発信や、餅つきイベントの開催など、新たな取り組みも始
まっています。

そして、「梅内山菜倶楽部」は、女性たちが共同で山菜採りや
出荷作業に取り組んでおり、首都圏にも出荷しています。

活動のキーワードは、「楽しむことが大事」「共同作業でやる
ことに意義がある」「目標や希望を持って取り組む」の3つ。これ
が梅内聚落の活動の原動力となっています。

三種町 下岩川地域

《地域のコミュニティを守る「くらしチーム」の取り組み》



三種町 下岩川地域づくり協議会
会長 近藤久信さん 副会長 赤川秀悦さん

同協議会は、4つのチームで構成されています。今回は、女
性を中心の「くらしチーム」についての紹介がありました。

例えば、遊休地を活用して取り組まれている「赤さざげ」の栽
培、出荷を通じて、住民は楽しく共同作業を行っています。ほ
かにも、伝統的な食文化を次世代へつなげていこうという「つ
なぐ料理教室」や、郷土料理を味わいながら交流する場「よう
がっこ」など、住民同士のつながりを深める活動を行っていま
す。

そして、月1回開かれる地域のカフェ「結いの里がっふえ」に
は、他地域からもお客さんが訪れており、関係人口の創出に
も一役買っています。

地域のコミュニティを守り、次世代につなげていきたいとの
思いが、「くらしチーム」の活動を支えています。

【発行】秋田県 人口戦略部 地域づくり推進課（元気ムラ支援チーム）

●所在地／〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1-1 ●電話／ 018-860-1215

●FAX／ 018-860-3875 ●E-mail chiiki@pref.akita.lg.jp

◆ 試食交流会

今年は10団体に出展いただきました。初の着席形式での交流会は大盛況



《能代市梅内聚落》
「ソバ入り寒天」

そばつゆで固めた“つかんで食べる”寒天。そばの実も入っている。



《三種町下岩川地域》
「赤づけ」

赤さざげのお米寿司。昔は各家々でお盆にお供えたもの。母親が作るのを見てレシピを覚えた。



《仙北市田沢地域》
「ゆべし」

主な材料は、もち粉、砂糖、水。色が違うのは、それぞれ合わせた材料が違うから。



《由利本荘市赤田地域》
「山菜ミックス煮物」

山で採取してきた山菜を調理し、パッキングしたもの。



《能代市鶴形地域》
「鶴形そば」

地元産そば粉を100%使用したそば。特徴はつなぎに“豆乳”を使用しているところ。



《秋田市四ツ小屋地域》
「じえんべ」

里芋を使用した“あんこ餅”。何回かゆでた後、味噌と塩で味付けした伝統食。



《大館市山田地域》
「なすジャム」

白なすを使用、皮をむきあく抜きして、レモンで仕上げた絶品ジャム。参加者にも大好評。



《能代市常盤地域》
「麦まき」

小麦粉、牛乳、卵を使用。ほうれん草や人参を入れて色を付けた。



《北秋田市合川地区》
「木いちごジャム」

無農薬、無化学肥料のブラックベリーを使用したジャム。グラニュー糖のみ使用、ヨーグルトとの相性が良い。



《八峰町本館地域》
「本館ソバ」

地元産そば粉を使用。甘みとコシがある手打ちそば。そば打ち体験も受け入れている。

◆ 販売ブース



《鶴形地域まちづくり協議会の販売ブース》

鶴形そば製造加工株式会社が生産している「鶴形そば」やソバの加工品の販売が行われました！限られた時間の販売にもかかわらず、生そばは、即完売でした。

◆ 試食交流会の様子



◆ アトラクション



《鶴形ささら保存会による鶴形ささら》

大交流会のフィナーレを飾ったのは、鶴形ささら保存会による鶴形ささらです。迫力ある舞の踊り手には高校生、美しい音色のお囃子には小学生と高校生も参加し、会場中がささら舞に魅了されていました。

演舞の途中、三匹の獅子が会場内に降りて舞う演出には、会場也大盛り上がり！素晴らしい締めくくりとなりました。

また来年も、皆さまのご来場をお待ちしています！